

アース(あす)

京と地球の共生府民会議 環境連続セミナー

行動するなら今でしょ！ ストップ温暖化

～地球温暖化にどのように向き合っていくか～

気候変動・エネルギーの専門家である、世界自然保護基金（WWF）ジャパンの小西雅子さんをお迎えし、国連の「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」第5次統合報告書の内容や、気候変動枠組条約締約国会議（COP20）における世界の最新の動きを伝えていただき、会場の皆様と一緒に、私たちが地球温暖化にどのように向き合っていくかを、あらためて考えます。

とき

平成27年**1月18日(日)**
14:00～16:00（受付 13:30～）

参加無料
90名
（先着順）

ところ

キャンパスプラザ京都 2階ホール
（JR京都駅から徒歩5分）

内容

「行動するなら今でしょ！ ストップ温暖化」

にし まさこ

小西 雅子さん



（公財）世界自然保護基金（WWF）ジャパン
自然保護室次長兼
気候変動・エネルギープロジェクトリーダー

<プロフィール>

中部日本放送などを経て平成17年から現職。
国連の気候変動会議など、地球温暖化の
国際交渉とエネルギー政策提言に従事。
日本気象予報士会副会長。

WWFホームページ <https://www.wwf.or.jp/>

■ お申し込み・お問い合わせ先

アース(あす)

京と地球の共生府民会議事務局(京都府環境政策課内)

TEL: 075-414-4704 FAX: 075-414-4705

E-mail: kankyo@pref.kyoto.lg.jp

アース(あす)

■ 主催 京都府・京と地球の共生府民会議

■ 共催 特定非営利活動法人気候ネットワーク

IPCC第5次統合報告書

IPCCは、地球温暖化に関する科学的情報を各国の政策決定者に示すため、1988年にWMO(世界気象機関)とUNEP(国連環境計画)によって設立された国連の組織。

2014年11月に公表された第5次の評価報告書の統合報告書では、海面上昇や食料不足などの地球温暖化の深刻な影響を避けるために、世界の温室効果ガス排出量を2050年に半減、今世紀末にほぼゼロにする必要があると指摘。

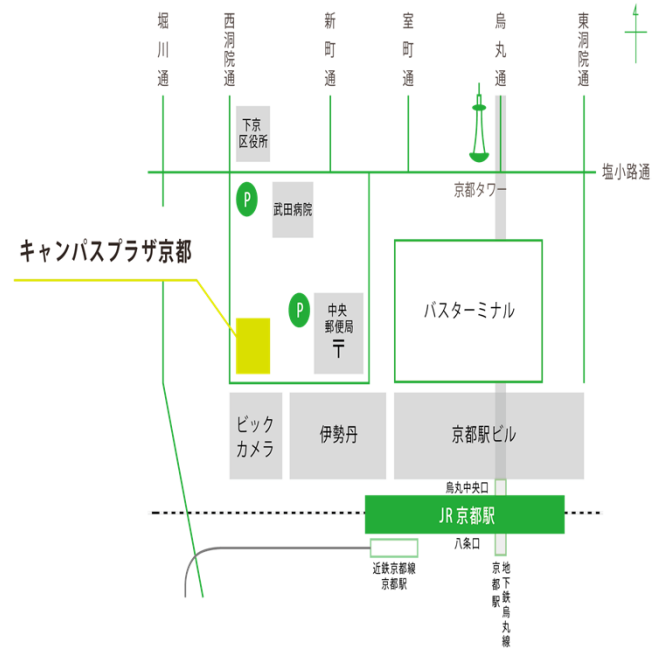
温室効果ガスの排出を抑制する「緩和策」の推進はもとより、深刻化する豪雨や洪水などを想定した対策をあらかじめ講じる「適応策」の必要性が強調されている。

COP20 (2014年12月、ペルーで開催)

2020年からスタートする「途上国を含むすべての国が参加する地球温暖化対策の新たな国際枠組み」を議論。この枠組みは2015年末のCOP21で合意することとされており、そのために、各国は、国内で決定した削減目標案を、可能であれば2015年の第1四半期までに表明することとなっている。

すでに、EUのほか、世界の2大排出国であるアメリカと中国が2020年以降の削減目標案を表明しており、日本を含む主要排出国の動きに注目が集まっている。

<会場>



住所：京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

交通のご案内

JR各線、京都市営地下鉄烏丸線、
近鉄京都線「京都駅」下車
徒歩5分

申込方法

- 下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、平成27年1月15日(木)までに FAX又は郵送でお申込みください。E-mail、電話でもお申し込みいただけます。
- 参加申込書は、ホームページからダウンロードもできます。
URL: <http://www.pref.kyoto.jp/kankyo/fuminkaigi/jigyouseminar.html>
- 会場の都合により、申込みが多数の場合は、定員になり次第締め切らせていただきます。
- 参加証等は発行いたしません。直接会場受付へお越しください。

参加申込書

宛先：京と地球の共生府民会議事務局(京都府環境政策課内) 〒602-8570(住所記載不要) FAX: 075-414-4705

| | | | |
|-----------------|---|-----------------|---|
| 所属 (会社・団体名等) | | | |
| ふりがな お名前 | | 参加人数 (申込者含む) | 名 |
| 住所 | 〒 | | |
| 電話 FAX | | E-mail | |

地球温暖化について日々疑問に思っていること、本セミナーで知りたいこと等ありましたら、ご自由にご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報は、適正に管理するとともに、当セミナーのみでの使用と致します。
※ご自身の個人情報に関する開示・訂正・削除を希望される場合は、事務局までご連絡ください。